

単元名「本の世界を広げて読む」

教材 「のらねこ」(教育出版3年上)

児童の実態

本学級の児童は、平成30年度のCRT学力検査の結果では、国語の4観点の中で、「読むこと」の項目が1番低かった。特に、「主語や述語について知ること」に課題がある。国語アンケートでは、「国語の授業は大切だと思いますか。」の質問に35人中33人が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した。「読書は好きですか。」の質問に対しては、32人が好きだと回答している。しかし、「自分の考えを文章に書くことは得意だ」では、11人が「どちらかといえばそう思わない・思わない」を回答している。国語の学習は大切だと考えていて、人の話をしっかり聞いたり、読書をしたりすることが好きな児童が多いが、文章を正しく読み取ったり、自分の考えを文章に表現したりすることを苦手としている児童が多いことがわかる。

以上の実態を踏まえて、本単元では、登場人物の行動や会話から、それぞれの性格を正しく読み取り、それを生かして物語の続きを膨らませて後日談を書くという単元のゴールを設定した。また、学習のゴールへ向かっていく各時間で、自分の考えを叙述をもとに書かせた後、ペアやグループで考えを共有し合うことで、新たな考えに気付いたり、自分の考えを深めさせたりしたい。

単元のゴール

- ・会話や行動に表れた登場人物の性格を考えそれをもとにしながら物語を想像して書く。
- (1) 登場人物の言葉づかいや行動を通して性格を考え、それをもとに物語を想像しようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 「かわいがられること」を知らないのらねこと、「ねこが好き」なりょうの会話や行動を通して、その性格を考えながら読んでいく。(読むこと)
- (3) 登場人物の性格がはっきりわかるように気をつけて、物語を想像して書いている。(書くこと)
- (4) 表現したり、理解したりするために必要な語句を増やし、語句には性質や役割の上で類別があることを理解する。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

ある日、のらねことりょうのかいねこが出会った後、どんなことが起こったでしょう。それぞれの性格をいかした物語を、想像して書こう。

言語活動

○のらねことりょうのかいねこが出てくる物語を、想像して書く。
 のらねこの性格を中心に、作品中ではほんの少し登場しただけのりょうのかいねこを生かしながら、会話を中心とした新たな物語を作り出せるようにする。そのため、会話を中心とした豊かな表現で描かれた世界を、想像を広げて読ませる。考えたことを発表し合うことで、さまざまな視点から考えたのらねこの特徴について理解し、自分なりの想像を膨らませて後日談を書くようにする。

時	課題	学習内容	授業後の児童の姿
1	◎単元のゴール（「のらねこ」の後日談を書く）を知り、学習の見通しを持つ。	○学習の見通し	・学習の見通しを持ち、意欲を持って学習しようとしている。
2	◎心に残る場面はどのような場面だろうか。	○感想の書き方 ・傍線を引く ・理由を書く ○話し合いの仕方	・話し合いによって、友だちの意見を聞いて自分の考えを深められている。
3	◎のらねこは、どのような言葉づかいや行動をしているだろう。	○要点の見つけ方 ・言葉づかい ・行動 ・態度	・行動や会話文に着目し、そこから登場人物の性格がわかる言葉を見つけることができる。
④ 本時	◎のらねこは、どのような性格なのだろうか	○登場人物の心情の読み取り方	・話し合いを通して、のらねこのさまざまな特徴的な姿について考えられている。
5	◎屋根の上ののらねこは、どのような気持ちでりょうやかいねこの様子を見ていたのだろうか。	○登場人物の心情の読み取り ○話し合いの仕方	・登場人物の性格や気持ちの変化について考え、話し合っている。
6 7 8	◎のらねことりょうのかいねこの性格を生かして後日談を書く。	○文章の書き方 ・「」の使い方 ・改行	・登場人物の性格がはっきりわかるように気をつけて、物語の続きを書こうとしている。

「読むこと」の繋がりを意識させるために
 第2学年では、「きつねのおきゃくさま」の教材において、繰り返し出てくる言葉に気をつけて読むこと、第3学年では、「白い花びら」の教材において、登場人物の様子を思い浮かべて読んだことを想起させる。

効果的な話し合い活動にするために
 他教科や、学級活動の中でも、話し合いの目的を明確にし、根拠をもとに意見を主張できるようにする。

本時の目標 行動や会話文に着目し、のらねこの性格について考えることができる。

前時の概要
○自分の心に残った場面について、理由とともに話し合う。 ・グループでの交流の仕方 ・意見の伝え方
主体的・対話的で深い学びに向けて
書いた文章を自分で読み返すことで、正しく書けているか、間違いがないか、確認する活動を通して自分自身の課題を見つけさせる。 ふりかえりを行い、何ができるようになったのかが振り返れるようにする。
本時の板書計画 5 / 10
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 2px;">ふりかえり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> まとめ のらねこは、 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 《のらねこのせいにかく》 のらねこは、 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 《のらねこのせいにかくがわかる言葉》 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 要点の見つけ方 (くりかえし出てくる言葉) ・言葉づかい ・行動 ・たい度 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 課題 のらねこは、どのような言葉づかいや行動をしているだろう。 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 2px;"> のらねこ 六月二十七日(木) </div> </div>
一人一人を伸ばす 上位層、下位層に向けて
上位層 傍線を引いた言葉からどのような性格が読み取れるか、なぜそう思ったのかをノートに書き出させる。
下位層 のらねこはどんな性格だと思うか、選択肢を提示し、なぜそう思ったのか、教科書中の言葉から選んで考えさせる。
今後の展開
○読み取ったことをもとに、のらねこの性格について考える。 ・のらねことリョウのかいねこが出会った後日談を書く。

学習活動	学習内容	指導上の留意点
1 前時を振り返る	○前時の学習内容の想起 ・言葉づかい ・行動 ・態度	・前時の学習を振り返る。
2 本時の課題を把握する。		
のらねこは、どのような性格なのだろうか。		
3 のらねこの性格について考え、ノートに書く。	○登場人物の心情の読み取り方 ・言葉づかい ・行動 ・態度	・教科書に引かれた傍線の言葉から、のらねこのどんな性格が読み取れるか、ノートに書き出させる。 ・読み取りが苦手な児童に対しては、具体例などを挙げたり、選択肢を用意したりして、自分なりののらねこの性格を考えさせる。 書 のらねこの言動から、のらねこの性格について考え書くことができる。
4 グループで話し合う。	○話し合いの仕方 ・司会者・発表者を決める。 ・それぞれ意見を出す。 ・司会者を中心に意見をまとめる。	・各自考えたことについて話し合い、グループで特に性格がわかる言葉とその言葉からわかる性格についてまとめる。 ・司会者・発表者は教師が決め、指示する。 関 話し合いに進んで参加し、自分の意見を発表したり、意見をまとめたりしようとしている。
5 グループの意見を発表する。		・自分の考えと比べながら各班の発表を聞き、振り返りで思ったことを書くように声がけをする。
6 本時のまとめと振り返りをする。	○本時のまとめ ○振り返り	・次時は、○○なのらねこの気持ちの変化について話し合うことを伝える。
のらねこは、		